

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

《月報》
平成19年7月
(第27～30週)

発行年月日:平成19年(2007年) 8月 21日
発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といえます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 19年				平成 18年		感染症 類型	疾 病 名	平成 19年				平成 18年	
		1～6月		7月		1～12月				1～6月		7月		1～12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	東部ウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0		鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0		ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-		日本紅斑熱	0	10	0	13	0	45
	ペスト	0	0	0	0	0	0		日本脳炎	0	1	0	0	0	7
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	鼻疽 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
	結核 ^(*)	62	4,515	29	1,764	-	-	ブルセラ症	0	1	0	0	0	5	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
三類	コレラ	0	8	0	1	1	47	発しんチフス	0	0	0	0	0	0	
	細菌性赤痢	12	250	0	34	26	483	ボツリヌス症	0	2	0	0	0	2	
	腸管出血性大腸菌感染症	13	1,030	9	682	54	3,910	マラリア	1	22	0	5	0	61	
	腸チフス	0	17	0	1	0	72	野兔病	0	0	0	0	0	0	
四類	バラチフス	0	8	0	1	0	24	ライム病	0	0	0	0	0	13	
	E型肝炎	0	29	0	3	2	70	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	リフトバレー熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
	A型肝炎	0	84	0	14	21	316	類鼻疽 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
	エキノコックス症	0	7	0	2	0	20	レジオネラ症	3	232	3	84	11	508	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	レプトスピラ症	0	3	0	3	0	24	
	オウム病	0	15	0	6	0	22	ロッキー山紅斑熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
	オムスク出血熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-	五類	アメーバ赤痢	7	381	2	57	8	738
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	ウイルス性肝炎	1	94	0	32	0	275	
	キャサヌル森林病 ^(*)	0	0	0	0	-	-	急性脳炎	1	120	0	15	1	160	
	Q熱	0	3	0	0	0	2	クリプトスポリジウム症	0	4	0	0	0	14	
	狂犬病	0	0	0	0	0	2	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	80	0	10	0	177	
	コクシジオイデス症	0	2	0	1	0	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	53	0	7	6	107	
	サル痘	0	0	0	0	0	0	後天性免疫不全症候群	6	678	0	111	8	1,301	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	ジアルジア症	0	23	0	5	1	87	
	西部ウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	-	-	髄膜炎菌性髄膜炎	0	11	0	0	0	14	
	ダニ媒介脳炎 ^(*)	0	0	0	0	-	-	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	
炭疽	0	0	0	0	0	0	梅毒	0	290	0	77	4	625		
つつが虫病	0	84	0	8	0	397	破傷風	0	40	0	12	1	115		
デング熱	1	28	0	13	0	57	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0		
							バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	36	0	4	0	79		

滋賀県における全数報告 感染症の概要(7月)

<結核>

性別:男性 17名、女性 12名
類型:患者 22名
無症状病原体保有者 4名
疑似症患者 3名
病型:肺結核 19名
その他の結核 10名

<腸管出血性大腸菌感染症>

性別:男性 5名、女性 4名
年齢:7歳、9歳、20歳、22歳、2名、
40歳、26歳、58歳、59歳
血清型・毒素型:
O157-VT2 2名
O157-VT1&VT2 7名

<レジオネラ症>

男性・62歳、男性・66歳、女性・85歳
推定感染経路は水系感染 2名お
よび不明 1名で、推定感染地域は
3名とも日本国内です。

<アメーバ赤痢>

男性・35歳、男性・46歳
2名とも推定感染経路は不明で、
推定感染地域は日本国内です。

*1 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分

*2 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含む

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間で単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

7月の概要

<インフルエンザ>

県内における報告はありません。

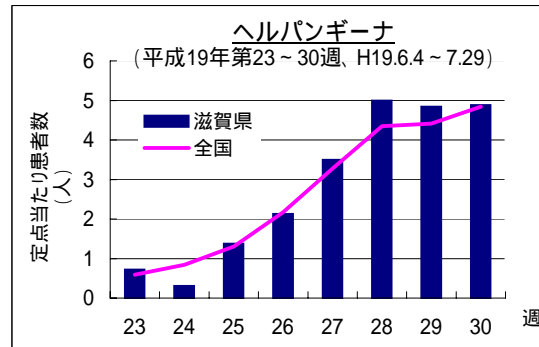
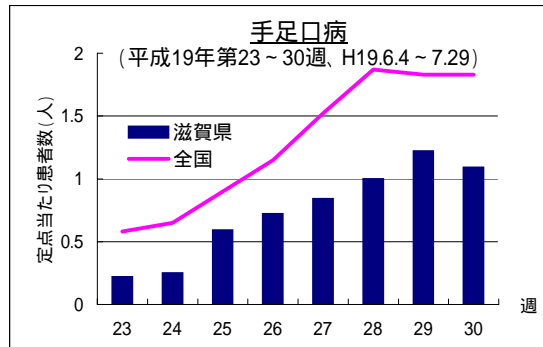
<小児科定点疾患>

手足口病、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症および百日咳は先月より増加し、その他の疾患については減少または横ばいとなっていました。手足口病およびヘルパンギーナは先月に引き続き増加傾向を示し、手足口病は第29週(7/16～7/22)にピークとなり定点当たり患者数は1.22でした。ヘルパンギーナは第28週(7/9～7/15)にピークとなり定点当たり患者数は5.00でした。咽頭結膜熱は先月よりやや減少しましたが、大津および東近江で多くなり先月に引き続き警報が発生していました。伝染性紅斑も先月より減少しましたが、甲賀で多くなり先月に引き続き警報が発生していました。

また、百日咳は草津、甲賀および東近江から、麻しんは東近江からの報告がありました。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である急性出血性結膜炎は先月より減少しており、流行性角結膜炎は先月より増加し東近江および彦根からの報告が多くなっていました。また、基幹定点疾患であるマイコプラズマ肺炎は甲賀および長浜から、成人麻しんは東近江からの報告がありました。



<各定点の対象疾患>

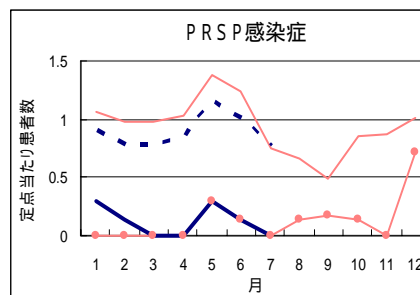
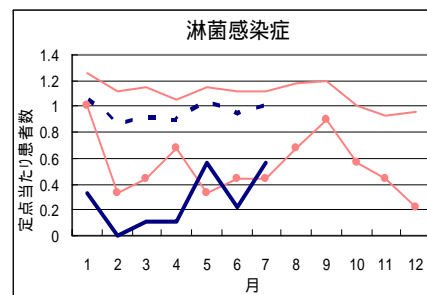
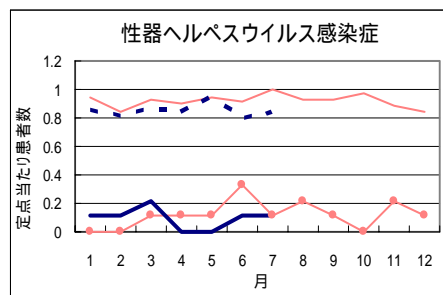
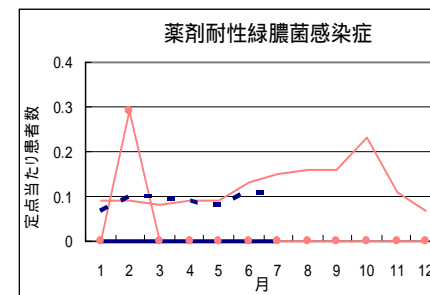
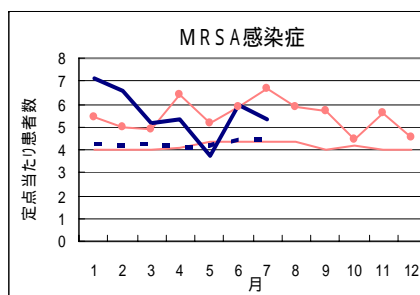
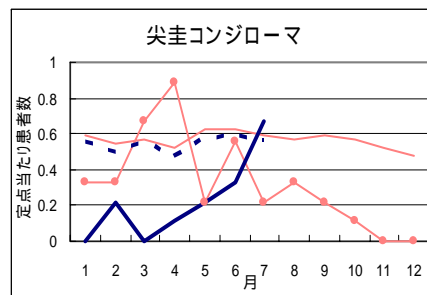
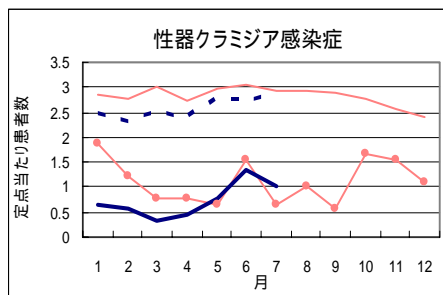
定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳、突発性発しん、ヘルパンギーナ、風しん(三日はしか)、麻しん、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、成人麻しん、クラミジア肺炎(オウム病を除く)

第23～30週(6/4～7/29)における手足口病およびヘルパンギーナの発生状況は上記グラフに示すとおりで、全国とほぼ同様の傾向を示しています。滋賀県におけるウイルスの分離状況は6月～7月に採取された手足口病患者の検体からコクサッキーウイルスA10型(CA10)およびコクサッキーウイルスA16型(CA16)が分離されています。また、ヘルパンギーナ患者の検体からはコクサッキーウイルスA10型(CA10)およびコクサッキーウイルスA6型(CA6)が分離されています。

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成19年7月)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	6	5	3	4	7	12	9						46
	定点当たり	0.67	0.56	0.33	0.44	0.78	1.33	1.00						5.11
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	1	1	2	0	0	1	1						6
	定点当たり	0.11	0.11	0.22	0	0	0.11	0.11						0.66
尖圭コンジローマ	罹患数	0	2	0	1	2	3	6						14
	定点当たり	0	0.22	0	0.11	0.22	0.33	0.67						1.55
淋菌感染症	罹患数	3	0	1	1	5	2	5						17
	定点当たり	0.33	0	0.11	0.11	0.56	0.22	0.56						1.89
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	50	46	36	37	26	42	37						274
	定点当たり	7.14	6.57	5.14	5.29	3.71	6.00	5.29						39.14
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	2	1	0	0	2	1	0						6
	定点当たり	0.29	0.14	0	0	0.29	0.14	0						0.86
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0	0	0						0
	定点当たり	0	0	0	0	0	0	0						0

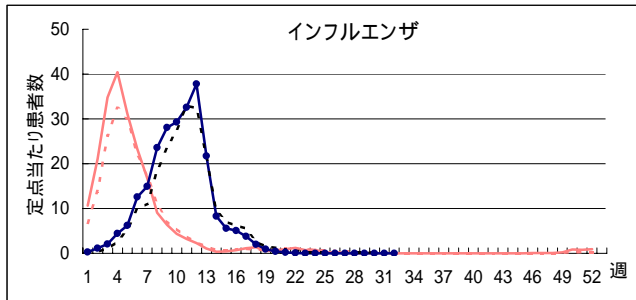


戻る

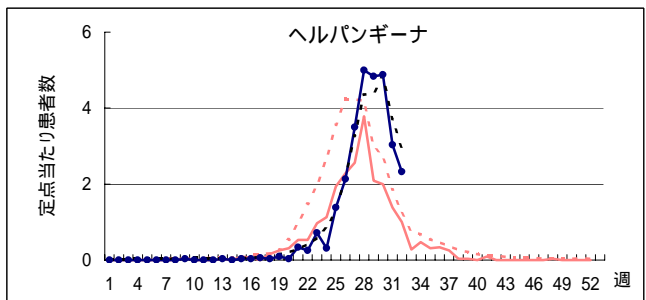
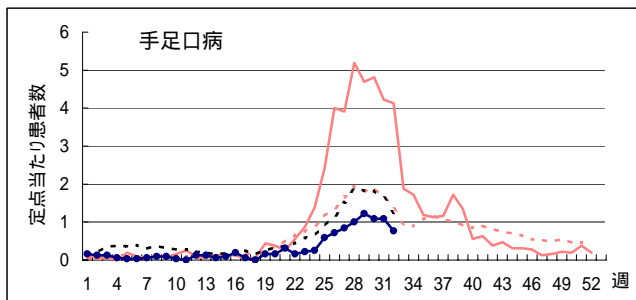
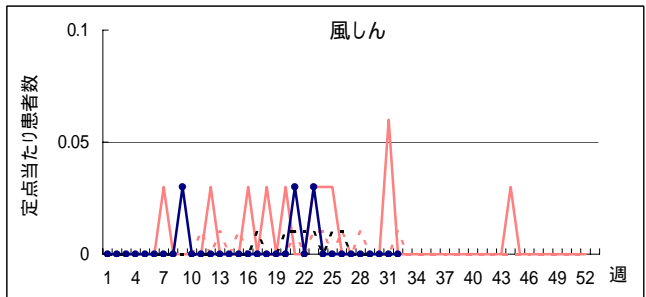
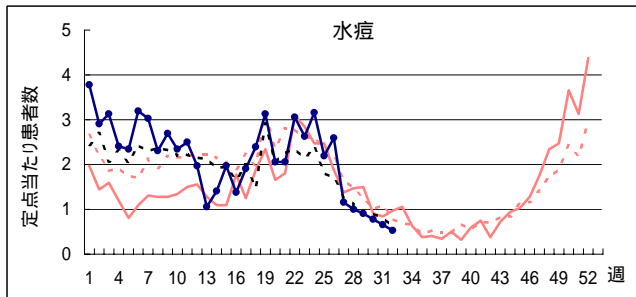
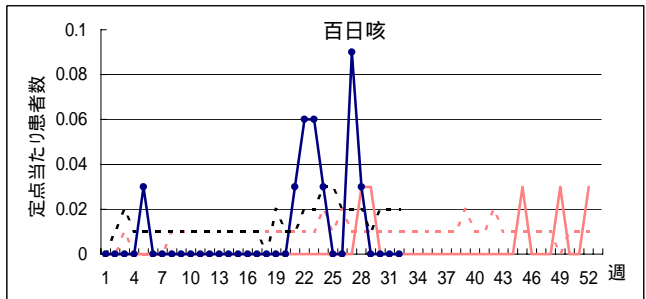
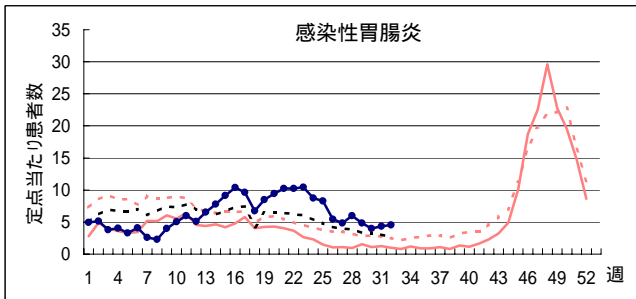
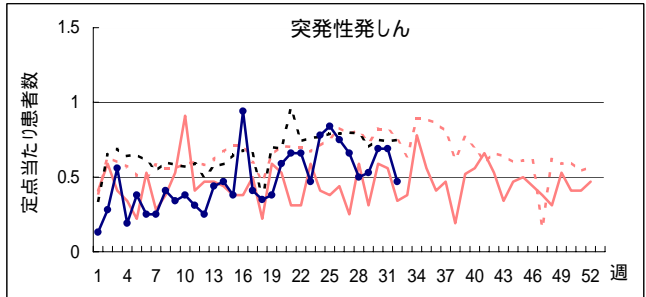
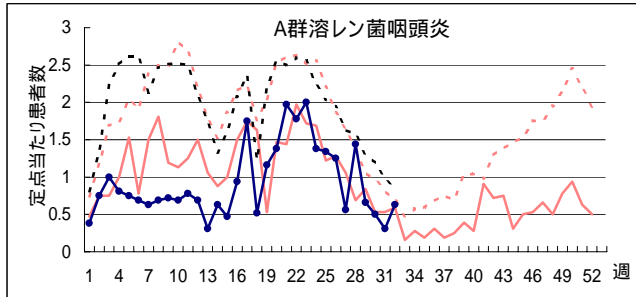
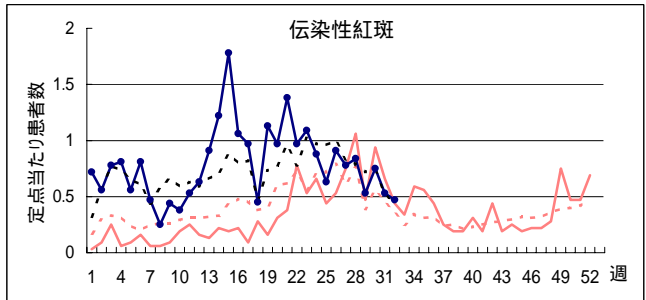
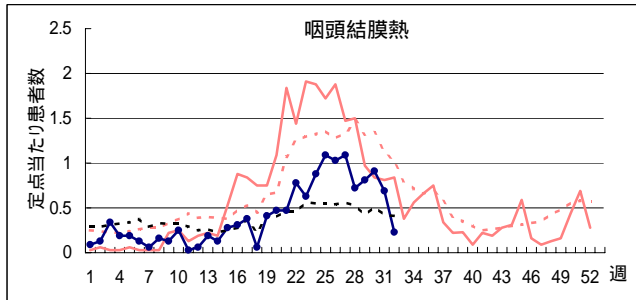
- H18 { 滋賀 ●●●●●
- { 全国 ○○○○○
- H19 { 滋賀 ●●●●●
- { 全国 ○○○○○

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第30週、H19.1.1～H19.7.29)



H18 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H19 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第30週、H19.1.1～H19.7.29)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●●●●●●
 全国 - - - - -

